

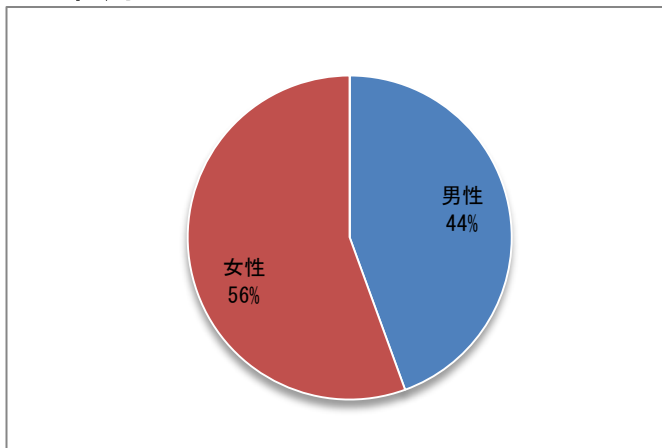
JAXA タウンミーティング in 福岡市科学館 開催報告

平成 30 年 2 月 24 日、JAXA タウンミーティング in 福岡市科学館 ～わたしたちの宇宙と未来～を開催しました。今回は、JAXA が取り組んでいるイプシロンロケットプロジェクトや宇宙環境計測について話題を提供し、会場の参加者と活発な意見交換がなされました。

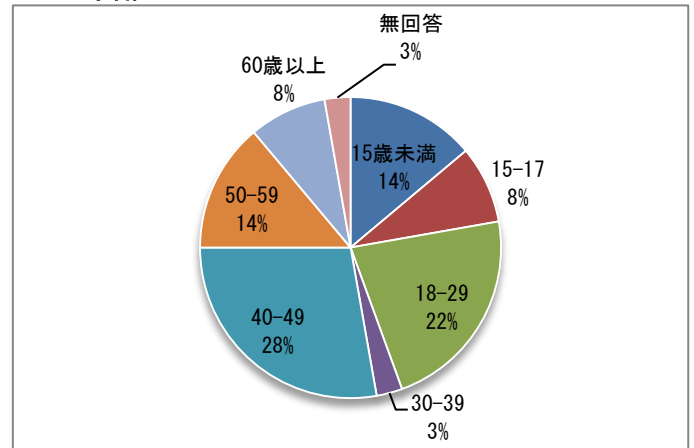
- 開催日時 平成 30 年 2 月 24 日（土） 13:00～15:30
- 会場 福岡市科学館 4 階 交流室 1
- 参加者数 67 名
- 登壇者
 - ・ JAXA 第一宇宙技術部門 イプシロンロケットプロジェクトチーム
プロジェクトマネージャ 井元 隆行
話題：「イプシロンロケット ～伝統を受け継ぎ革新を続ける～」
 - ・ JAXA 研究開発部門 第一研究ユニット 研究領域主幹 松本 晴久
話題：「宇宙環境計測とその影響把握の研究」
- 進行コーディネーター
 - ・ JAXA 広報部長 庄司 義和

アンケート回答者の属性（有効回答数：40）

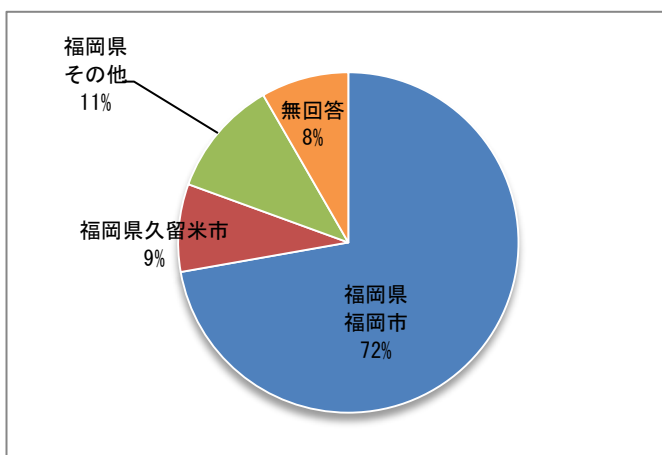
1. 性別



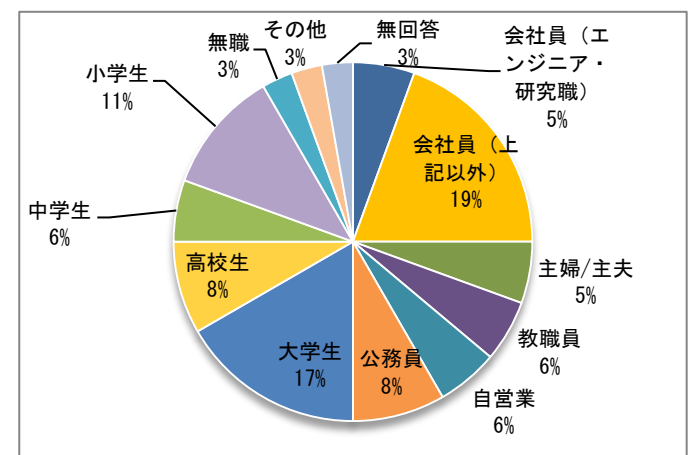
2. 年齢



3. 居住地



4. 職業



いただいた主なご意見（意見投稿、アンケート記入分も含む）

■今回のタウンミーティングの話題に関連して

◇イプシロンロケット～伝統を受け継ぎ革新を続ける～

- ・ 日本のロケットは信頼性という意味では評価が非常に高い。今後はコストを下げたうえでたくさん打ち上げるといふところに注力し、もっと国際競争力を高めていくべき。
- ・ 将来的にはロケットの再利用も視野に入れて研究を進めてほしい。
- ・ 小型ロケットの開発が、最終的に大型の精度を高めていくのに役立つと思うので、頑張ってください
- ・ イプシロンはH2AやH2Bと違い、低コストで打ち上げることができるので非常にいいと思います。また、資金を調達できることや他国からの信頼を得ることが出来る利点をもつ商業利用も増やしていくといいと思います。
- ・ 自分もエンジニアとして働いているが、規模は違えど日々の技術開発を頑張っていきたいと思った。
- ・ やはりアメリカ等に比べるとH2A等含めても打ち上げ頻度は少なめかと思います。技術は世界最高であっても運用できないと無用の長物になってしまいます。
- ・ 世界レベルのロケットとして安定的に認知され続けたいなと思いました。
- ・ イプシロンロケットについてあまり詳しく知らなかったのですが、今回はいつか何か提案出来るように勉強の為に参加しました。私達の日常生活では想像の出来ない苦勞をされているでしょうが家族や友人にJAXAの方々の活躍を広め関心をひろげていきたいです。
- ・ 予算が限られていて大変だと存じますが、もっと稼働数を増やせるように頑張ってくださいと思います。
- ・ 更なる技術力の向上を目指し人類に貢献してもらいたい。

◇宇宙環境計測とその影響把握の研究

- ・ 宇宙放射線を逆に利用し、充電したり、宇宙空間での推進力に変えることはできないか。
- ・ 宇宙空間での各軌道、高度における放射線環境や、宇宙天気の情報についてさらに精度を高め、超小型衛星を作ろうとしているベンチャー企業が活用できるような仕組みを整備してほしい。
- ・ 人類が今後どうなるのかが、かかっているんで、頑張ってください。
- ・ 太陽風が地球に与える影響についてよくわかりました。
- ・ スペースデブリについては特に研究をリードしていただきたいと応援しています。
- ・ これからの車の自動運転化にも非常に重要な位置を占める研究と思えます。
- ・ サイエティストとエンジニアは、今後協力していく上でもっと調和を取るべき。お互いが重きを置く観点の違いから、コミュニケーション障害が起きてしまうように感じる。
- ・ オーロラについて興味があったのですが、他にも宇宙の太陽風などの影響による地球への影響などとても勉強になりました。
- ・ 解らない事象を早く解明して役立てていただきたい。
- ・ 地球規模の観測、予測を提言してほしい（気象、地球温暖化等）
- ・ 宇宙線など、日ごろ耳慣れない話でしたが、非常に重要なテーマであると認識できました
- ・ 宇宙ゴミを処理してほしい。
- ・ 宇宙での安全な活動のために、より情報を集めてほしい。

■タウンミーティング、その他について

- ・ プロジェクトによってはクラウドファンディング等を活用してはどうか。一般市民の興味を喚起することに繋がる。
- ・ 受注獲得、国民への周知という観点から、広報を更に強化したほうがいいかと思います。NASA、SPACE X やロケットラボ等の打ち上げ中継を見ていると、JAXA の中継はさみしいと感じる部分があります。予算的に厳しいのであれば、打ち上げを移管した民間企業にこちらでも移管すべきでは…とも思います。
- ・ 私は九州大学で航空宇宙工学を専攻しています。大先輩のお話を聞けてとても楽しかったです。私も将来一員になれるよう、頑張りたいです。
- ・ 限られた予算の中で革新的な技術開発が行われていることが、今回よくわかりました。これからもよりよい技術開発を求めます。
- ・ とても楽しく、今後の航空宇宙工学の勉強へのモチベーションにしたいと思います。
- ・ 内容が少し難しく感じた。もう少し易しい内容のタウンミーティングを開催することで、宇宙や JAXA がより一般に認知され、興味も深まるのではないかと考えます。
- ・ 講師の先生方が使用されるセミナースライドをレジュメとして可能な範囲で配布してほしい。
- ・ 広報を強め、大志を持つことが予算の獲得につながる。
- ・ もっと広く一般の方も興味を持って参加出来る様な宣伝をしてほしい。
- ・ 子どもにも知ってほしいので、絵本や紙芝居形式で広めてほしい。
- ・ 専門的な話もよいが、もっと未来の夢を語ってもよい。現実化するために努力しているんだと伝えてほしい。
- ・ 宇宙を駅前等でも広めてほしい。



